

## 協働事業報告書

|        |                        |         |              |
|--------|------------------------|---------|--------------|
| 事業の名称  | プレーパーク活動を通じた子育て親育ち支援事業 |         |              |
| 団体名・氏名 | にしのみや遊び場つくる<br>う会      | 関係課(G)名 | 子育て企画・育成グループ |
| 事業費    | 529,265 円              | 市の負担額   | 100,000 円    |

|                                       |  |  |
|---------------------------------------|--|--|
| 事業<br>の<br>目<br>的<br>及<br>び<br>内<br>容 | <p>(目的)</p> <p>&lt;プレーパーク活動を通じた子育て親育ち支援事業の実施&gt;</p> <p>下記にあげる事業を協働して実施することで、子どもや親が自ら成長し、主体的に動く子育て親育ちを促進する。また子育て世代だけでなく、広く市民にその理念が浸透し、地域で子どもを育てることを実質的なものとする。</p> <p>○常設プレーパーク、出前プレーパークの実施</p> <p>「自分の責任で自由に遊ぶ」ことをモットーとしたプレーパークの実施をすることで、子どもがのびのびと遊ぶ場を作る。また、プレーリーダーがその場にいることで保護者への啓発も進み、けがをしても人のせいにならないなどの考え方をするようになる。そして、依頼による出前プレーパークを実施することで、市内の隅々にまで前記の理念を広げるため。</p> <p>○10周年記念イベントの実施（平成22年2月11日～2月13日）</p> <p>3日間の連続プレーパークや、県外からゲストを招く子育て座談会、自分たちで作って食べる昼飯つくろう会などのイベントを通して、参加者が地域のつながりの大切さなどを知り、活動の継続のきっかけ作りとする。</p> |  |
|                                       | <p>(内容)</p> <p>プレーパーク活動を通じた子育て親育ち支援事業の実施</p> <p>○常設プレーパーク、出前プレーパークの実施</p> <p>○10周年記念イベントの実施（平成22年2月11日～2月13日）</p> <p>○市民への周知</p> <p>（チラシの作成、子育てガイドなどへの掲載、市HPとのリンクなど）</p>   |  |
|                                       | <p>(市民活動団体等の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事業の企画、立案、運営</li><li>・チラシの作成</li><li>・関係団体への広報</li></ul>   | <p>(市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・広報活動(市政ニュースにおける広報、マスコミ、庁内、子ども会、青少年愛護協議会等への周知)</li><li>・市主催講座における講師としての活用</li><li>・庁内からの参加</li><li>・児童館等との連携</li></ul> |

(様式 10 号)

|            | 市民活動団体等   | 市 ※   |
|------------|---|---|
| 協働事業の成果・効果 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 10周年事業の市政ニュースへの掲載により、市民に周知でき参加者増加に繋がった。</li><li>・ 10周年事業に行政側の参加があった。</li><li>・ チラシに「西宮市との協働事業として実施」と載せることで、信頼性が高まった。</li><li>・ 県の冒険ひろば事業は21年度限りだが、事業継続の一例として、県内の冒険ひろば実施団体の先進事例となった。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 今年度は市政ニュースへの掲載等、広報活動に重点が置かれていたため、その部分での効果はあったと思うが、その他では成果をあげることは出来なかった。</li></ul> |
| 課題         | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 申請が遅かったため、広報など市側にも迷惑をかけた。</li><li>・ 今後の広報の仕方もっと早めに大学などへも広報するべきだった。</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 今後、広報活動だけではなく、プレーパークの有効活用、リーダー養成等、市の事業との連携が必要である。</li></ul>                       |

注1 事業実施が確認できる資料（写真、新聞記事、作成したチラシ、パンフレット等）を添付してください。

注2 ※印の箇所は関係課(G)で記入します。

## 自 己 評 価 書 (にしのみや遊び場つくろう会)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 事業の名称                                   | プレーパーク活動を通した子育て親育ち支援事業  |   |
| 団体名・氏名<br>関係課(G)                        | にしのみや遊び場つくろう会<br>子育て企画・育成グループ   |   |
| 自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)              |   |   |
| 1. 計画どおりに<br>実施できたか                     | 1. できた  | 主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)   |
|   | <input checked="" type="radio"/> 2. 概ねできた   |   |
| 3. あまりできなかった                            |   |   |
| 4. ほとんどできなかった                           |   |   |
| 2. 事業実施により<br>期待した成果<br>を上げることが<br>できたか | 1. 期待どおり  | 主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)   |
|   | <input checked="" type="radio"/> 2. 概ね期待どおり   |   |
| 3. あまりなかった                              |   |   |
| 4. ほとんどなかった                             |   |   |
| 3. 協働で事業実<br>施した効果はあ<br>ったか             | 1. 非常にあった   | 主な理由<br><br>・ 市政ニュースでの広報は、広く市民に信頼<br>できる情報として有効だった。<br>・ チラシへの協働事業の明記などで信頼度が高まり、初めての参加者が増えた。<br>・ 兵庫県青少年課、兵庫県青少年本部などの<br>職員も訪れたが、子育て総合センター所長や<br>協働グループ職員など市行政側からの参加が<br>あり、今後の理解に繋がると思われる。 |
|   | <input checked="" type="radio"/> 2. あった   |   |
| 3. あまりなかった                              |   |   |
| 4. ほとんどなかった                             |   |   |
| 4. その他、評価<br>すべき点、反省す<br>べき点            | <p>評価すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請が遅れたにもかかわらず、市政ニュースへの掲載など市側が骨折ってくれお陰で、広く市民に周知ができた。</li> <li>・ 10周年事業により、地域とのつながりが深まった。(自治会のテントの借用や、自治会長の懇親会参加など)</li> </ul> <p>反省すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10周年事業初日の子育て座談会は、会場がプレーパーク現場と離れていたので多くの子育て世代が参加しながら、座談会には参加しなかった。(3日目の座談会は現場で行った)</li> </ul> |   |

## 自 己 評 価 書 (子育て企画・育成グループ)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 事業の名称                                   | プレーパーク活動を通じた子育て親育ち支援事業  |   |
| 団体名・氏名<br>関係課(G)                        | にしのみや遊び場つくろう会<br>子育て企画・育成グループ   |   |
| 自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)              |   |   |
| 1. 計画どおりに<br>実施できたか                     | 1. できた  | 主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)                       |
|   | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ねできた  |   |
| 3. あまりできなかった                            |   |   |
| 4. ほとんどできなかった                           |   |   |
| 2. 事業実施によ<br>り期待した成果<br>を上げることが<br>できたか | 1. 期待どおり  | 主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)                       |
|   | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね期待どおり  |   |
| 3. あまりなかった                              |   |   |
| 4. ほとんどなかった                             |   |   |
| 3. 協働で事業実<br>施した効果はあ<br>ったか             | 1. 非常にあった   | 主な理由<br><br>広報活動については参加者増など一定の効果が<br>見られたと思う。 |
|   | <input checked="" type="checkbox"/> 2. あった  |   |
| 3. あまりなかった                              |   |   |
| 4. ほとんどなかった                             |   |   |
| 4. その他、評価<br>すべき点、反省す<br>べき点            | <p>評価すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の広報活動によって、参加者が増えるなど、広く市民に「子どもや親が自ら成長し、主体的に動く子育て親育ちを促進する」という理念が浸透し、地域で子どもを育てることを実質的なものとするという目的が一部達成できたと思う。</li> </ul> <p>反省すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は広報活動に重点が置かれていたことと、時間がなかったため、事業内容等について、市があまり関わることはできなかった。</li> </ul> |   |